

平成 26 年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート（案）

目 次

1. みえ森と緑の県民税基金積立金事業	2
2. 災害に強い森林づくり推進事業のうち災害緩衝林整備事業	3
3. 災害に強い森林づくり推進事業のうち土砂・流木緊急除去事業	4
4. 森を育む人づくりサポート体制整備事業	5
5. みえ森と緑の県民税市町交付金事業	6
6. みえ森と緑の県民税制度運営事業のうち みえ森と緑の県民税評価委員会の設置・運営、みえ森と緑の県民税の普及啓発、 みえ森と緑の県民税関連データ管理	12
7. みえ森と緑の県民税制度運営事業のうち三重県財政調整基金への積立	13
8. 賦課調査事務事業（みえ森と緑の県民税導入準備費交付金等）	14

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月 1日
	中間	平成26年10月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成25年度
事業名		みえ森と緑の県民税基金積立金事業				
基本方針区分		-				
対策区分		-				
予算額等	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額 (円)	42,074,000	797,000,000			
	決算額 (円)	34,466,475				
事業の目的		「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進する施策に要する経費の財源に充てるため、みえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。				
事業目標		-				
事業内容		平成26年度のみえ森と緑の県民税の税収に相当する額を「みえ森と緑の県民税基金」に積み立てます。				

【中間進捗】

中間進捗状況	※中間報告時点での状況を定量的（又は定性的）に記入する。実績報告時には欄毎削除する。
-	

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部課名	農林水産部治山林道課	
作成年月日	当初	平成26年10月 9日
	中間	平成26年10月 9日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		災害に強い森林づくり推進事業のうち、災害緩衝林整備事業				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木を出さない森林づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	343,982,000				
	決算額（円）					
事業の目的		崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流沿いの森林等において、土砂や流木の発生・流出に対して緩衝効果を発揮する森林の整備を行います。また、それらの事業投入によってどの程度の効果があるのかを明らかにするために、科学的な視点での研究・調査を実施します。				
事業目標		実施箇所数：30箇所				
事業内容		崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流沿いの森林において、土砂や流木の発生・流出に緩衝効果を発揮する一定幅の森林について調整伐等を実施し、緩衝機能を高める森林整備を行います。 1 事業実施 （1）溪流内の倒木や枯損木、根の浮き上がった木、劣勢木等、流木の発生源となる危険木の伐採 （2）溪流沿いの立木における調整伐 （3）伐採木の山腹斜面での土砂止め等への利用、又は林外への搬出 2 事業の効果検証にかかる調査・研究（林業研究所及び大学との共同研究） 3 次年度実施候補地にかかる事業実施に必要な測量・調査				

【中間進捗】

中間進捗状況
現時点において、森林等所有者の事業実施に対する承諾が得られた18箇所について箇所を公表し、そのうち5箇所で行いました。残りの箇所についても早期着手に向けて取り組みます。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	実施箇所数（箇所）	
	工事費（千円）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部課名	農林水産部治山林道課	
作成年月日	当初	平成26年10月 9日
	中間	平成26年10月 9日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	災害に強い森林づくり推進事業のうち、土砂・流木緊急除去事業				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	1. 土砂や流木を出さない森林づくり				
予算 等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額（円）	102,529,000			
	決算額（円）				
事業の目的	崩壊土砂流出危険地区流域内に異常堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものについて、除去を行います。				
事業目標	実施箇所数：8箇所				
事業内容	崩壊土砂流出危険地区に指定された溪流の集水区域内において、溪流内や治山施設に異常堆積した土砂や流木について、搬出・除去を行います。 (1)溪流内や治山施設等に異常堆積した土砂や流木等の搬出・処理 (2)必要に応じて簡易施設、土捨て場の設置				

【中間進捗】

中間進捗状況
現時点において、森林等所有者の事業実施に対する承諾が得られた5箇所について箇所を公表しました。法令等規制にかかる申請手続きや土砂置き場の事前確認が整ったところから早期契約に向けて手続きを進めます。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	箇所数（箇所）	
	工事費（千円）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月1日
	中間	平成26年10月1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		森を育む人づくりサポート体制整備事業				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		3. 森を育む人づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	10,812,000				
	決算額(円)					
事業の目的		「県民全体で森林を支える社会づくり」に資する取組として「森を育む人づくり」を進めるため、森林環境教育や森づくり活動に取り組みやすい環境を整備し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により地域や学校等で行われる当該取組にかかる活動を促進します。				
事業目標		(1)市町・学校等の取組のサポート：随時 (2)指導者・活動者の育成：研修の開催 12回 (3)小学校教科書副読本の作成・配布：県内の小学5年生全児童への配布 1万6千部以上				
事業内容		みえ森と緑の県民税市町交付金事業等により地域で行われる森林環境教育や森づくり活動等をサポートする基本的な業務を行なうとともに、サポートセンターの設置準備を進めます。 1. 森林環境教育体制整備 学校や地域での森林環境教育の取り組みが促進されるよう、指導者の技術力向上のための支援や体制づくり、学校等での活用が可能な教材の作成等を行います。 2. 森づくり活動体制整備 森づくりに取り組む県民や団体が増えるなか、森林整備の正しい知識や事故防止のための安全教育が必要となっているため、それらについての研修を開催するほか、必要に応じて道具の貸し出し等を行います。				

【中間進捗】

中間進捗状況
(1)サポート対応数：43件他
(2)研修等の実施数：実施済5、実施中2、未実施4、中止1（※台風の影響による）
(3)副読本の作成：委託発注済（10～11月発行・配布予定）

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	研修等の実施（回）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月 1日
	中間	平成26年10月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金事業				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり 2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	268,600,000				
	決算額(円)					
事業の目的		「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。				
事業目標		地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29 市町				
事業内容		地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。				

【中間進捗】

中間進捗状況
9月末時点で全73事業のうち41事業が実施済又は実施中となっており、着手率は56%となっています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)		
事業量	取組市町数(市町)	
	取組事業数(事業)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月 1日
	中間	平成26年10月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分1：土砂や流木を出さない森林づくり）				
基本方針区分		1. 災害に強い森林づくり				
対策区分		1. 土砂や流木を出さない森林づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	7,296,000				
	決算額（円）					
事業の目的		「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。				
事業目標		地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29 市町				
事業内容		地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。 なお、「対策区分1：土砂や流木を出さない森林づくり」の基本的な考え方は、「土砂や流木によって人家や公共施設に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進める」です。				

【中間進捗】

中間進捗状況	
9 月末時点で全2 事業のうち1 事業が実施中となっており、着手率は50%となっています。	

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	取組市町数（市町）	
	取組事業数（事業）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月 1日
	中間	平成26年10月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度	平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分2：暮らしに身近な森林づくり）				
基本方針区分	1. 災害に強い森林づくり				
対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額（円）	118,759,000			
	決算額（円）				
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。				
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29 市町				
事業内容	地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。 なお、「対策区分2：暮らしに身近な森林づくり」の基本的な考え方は、「生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進める」です。				

【中間進捗】

中間進捗状況	9 月末時点で全 26 事業のうち 16 事業が実施済又は実施中となっており、着手率は 62%となっています。
--------	---

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	取組市町数（市町）	
	取組事業数（事業）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当初	平成26年10月	1日
	中間	平成26年10月	1日
	実績	平成 年	月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分3：森を育む人づくり）				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		3. 森を育む人づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	39,383,000				
	決算額（円）					
事業の目的		「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。				
事業目標		地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29 市町				
事業内容		地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。 なお、「対策区分3：森を育む人づくり」の基本的な考え方は、「森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、児童・生徒をはじめ様々な県民に、森林や木材について学び・ふれあう機会を提供するなど、森と県民との関係を深める対策を進める」です。				

【中間進捗】

中間進捗状況

9 月末時点で全 21 事業のうち 15 事業が実施済又は実施中となっており、着手率は 71%となっています。

【実施結果】

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月 1日
	中間	平成26年10月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分4：木の薫る空間づくり）				
基本方針区分		2. 県民全体で森林を支える社会づくり				
対策区分		4. 木の薫る空間づくり				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	93,404,000				
	決算額（円）					
事業の目的		「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。				
事業目標		地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29 市町				
事業内容		地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。 なお、「対策区分4：木の薫る空間づくり」の基本的な考え方は、「木づかいを通じて森林を支えるため、県民の暮らしや公共空間において、建築からエネルギーまで幅広い用途での木材利用を促進するなど、木材と県民との関係を深める対策を進める」です。				

【中間進捗】

中間進捗状況
9月末時点で全19事業のうち8事業が実施済又は実施中となっており、着手率は42%となっています。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	取組市町数（市町）	
	取組事業数（事業）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当 初	平成26年10月	1 日
	中 間	平成26年10月	1 日
	実 績	平成 年 月	日

事業実施年度	平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度	
事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（のうち、対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり）					
基本方針区分	2. 県民全体で森林を支える社会づくり					
対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり					
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	9,754,000				
	決算額（円）					
事業の目的	「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開することができるよう「みえ森と緑の県民税市町交付金」を交付します。					
事業目標	地域の実情に応じた森林づくりに取り組む市町の数：29市町					
事業内容	地域の実情に応じて市町が行う以下の対策に要する経費に対して交付金を交付します。 1. 土砂や流木を出さない森林づくり 2. 暮らしに身近な森林づくり 3. 森を育む人づくり 4. 木の薫る空間づくり 5. 地域の身近な水や緑の環境づくり 交付金には、市町の森林面積や人口に応じて全市町に配分する「基本配分枠」と、基本配分枠では実施できないような大規模な事業に対応するため申請に基づいて弾力的に配分する「特別配分枠」とを設けています。 なお、「対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり」の基本的な考え方は、「地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守る活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備など、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深める対策を進める」です。					

中間進捗状況

9 月末時点で全 5 事業のうち 1 事業が実施済又は実施中となっており、着手率は 20%となっています。

区 分		実 績	備 考
事業費（千円）			
事業量	取組市町数（市町）		
	取組事業数（事業）		

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	農林水産部みどり共生推進課	
作成年月日	当初	平成26年10月 1日
	中間	平成26年10月 1日
	実績	平成 年 月 日

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税制度運営事業 (のうち、みえ森と緑の県民税評価委員会の設置・運営、みえ森と緑の県民税の普及啓発、みえ森と緑の県民税関連データ管理)				
基本方針区分		-				
対策区分		-				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額(円)	16,088,000				
	決算額(円)					
事業の目的		「みえ森と緑の県民税」の制度が円滑に運営されるよう、県民への周知、みえ森と緑の県民税評価委員会の設置・運営、みえ森と緑の県民税を活用した事業の実績データの管理等を行います。				
事業目標		みえ森と緑の県民税評価委員会の設置及び円滑な運営 平成26年度委員会開催回数：1回以上				
事業内容		(1) みえ森と緑の県民税評価委員会の設置・運営 みえ森と緑の県民税を活用した事業結果等について調査審議する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を設置・運営します。 (2) みえ森と緑の県民税の普及啓発 平成26年4月から「みえ森と緑の県民税」が新たに導入されることについて、ポスター掲出や映画館でのCM等によって様々な層の県民に周知し、理解を促進します。 (3) みえ森と緑の県民税関連データ管理 みえ森と緑の県民税関連の県営事業及び市町交付金事業の実績等を管理するため、県と市町とのデータ交換が可能なソフトを新たに導入し、台帳管理やデータの整理等を行います。				

【中間進捗】

中間進捗状況
(1) みえ森と緑の県民税評価委員会の設置・運営 みえ森と緑の県民税評価委員会条例を制定し、この条例に基づいて学識経験者等委員10名で構成する「みえ森と緑の県民税評価委員会」を設置しました。 (2) みえ森と緑の県民税の普及啓発 個人住民税の徴収が本格的に始まる6月を目標に、4・5・6月で集中的に広報を展開しました。 (3) みえ森と緑の県民税関連データ管理 県営事業及び市町交付金事業の実績等を一元的に管理できるシステムの構築業務の受注業者を選定しました。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費(千円)		
事業量	委員会開催回数(回)	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部課名	農林水産部みどり共生推進課		
作成年月日	当 初	平成26年10月	1 日
	中 間	平成26年10月	1 日
	実 績	平成 年 月 日	

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成26年度
事業名		みえ森と緑の県民税制度運営事業（のうち、三重県財政調整基金への積立）				
基本方針区分		-				
対策区分		-				
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	42,074,000	-	-	-	-
	決算額（円）	34,466,475	-	-	-	-
事業の目的		平成25年度に三重県財政調整基金から繰り入れ、導入準備事業に充てた費用相当額を三重県財政調整基金に積み立てます。				
事業目標		-				
事業内容		平成25年度において「三重県財政調整基金」から繰り入れて、「みえ森と緑の県民税」の導入準備に活用した費用相当額について、平成26年度の「みえ森と緑の県民税」の税収を積み立てた「みえ森と緑の県民税基金」から繰り入れて「三重県財政調整基金」に積み立てます。				

【中間進捗】

中間進捗状況

平成 25 年度に導入準備に要した費用が 34,466,475 円と確定したことから、これを三重県財政調整基金に積み立てます。

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費 (円)	34,466,475	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の観点	事業実施主体コピラント	評価委員会の評価
有効性	当該事業は、平成 25 年度において「三重県財政調整基金」から繰り入れて、「みえ森と緑の県民税」の導入準備に活用した費用相当額について、平成 26 年度の「みえ森と緑の県民税」の税収を積み立てた「みえ森と緑の県民税基金」から繰り入れて「三重県財政調整基金」に積み立てる事業です。	※実績報告後に記入する。
効率性	当該事業は、平成 25 年度において「三重県財政調整基金」から繰り入れて、「みえ森と緑の県民税」の導入準備に活用した費用相当額について、平成 26 年度の「みえ森と緑の県民税」の税収を積み立てた「みえ森と緑の県民税基金」から繰り入れて「三重県財政調整基金」に積み立てる事業です。	※実績報告後に記入する。
公益性 (波及度)	当該事業は、平成 25 年度において「三重県財政調整基金」から繰り入れて、「みえ森と緑の県民税」の導入準備に活用した費用相当額について、平成 26 年度の「みえ森と緑の県民税」の税収を積み立てた「みえ森と緑の県民税基金」から繰り入れて「三重県財政調整基金」に積み立てる事業です。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。

平成26年度みえ森と緑の県民税基金事業
事業別評価シート（案）

担当部署名	総務部税務企画課		
作成年月日	当初	平成26年10月 1日	
	中間	平成 年 月 日	
	実績	平成26年10月 1日	

【事業概要】

事業実施年度		平成26年度	区 分	新規・継続	事業開始年度	平成25年度
事業名		賦課調査事務事業（みえ森と緑の県民税導入準備費交付金等）				
基本方針区分						
対策区分						
予算額等	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	予算額（円）	12,935,000	-	-	-	-
	決算額（円）		-	-	-	-
事業の目的		みえ森と緑の県民税を導入するに当たり、個人県民税の賦課徴収を行う市町に税務システム改修経費及び納税者に対する広報経費が必要なことから、導入当初に限り、市町に対して「みえ森と緑の県民税導入準備費交付金」を交付します。 また、市町の広報の前に広く県民に届けられる自動車税納税通知を活用して広報します。				
事業目標		市町の税務システム改修に対して交付金を交付します。 また、29市町において、納税者に送付する納税通知書等にチラシを同封、又は、説明を追記いただき、その経費に対して交付金を交付し、円滑な導入を図ります。 なお、約57万人の納税者に届けられる自動車税の納税通知に同チラシを同封して事前に広報します。				
事業内容		市町に交付する「みえ森と緑の県民税導入準備費交付金」の対象は、「税務システム改修経費」と「納税者に対する広報経費」です。 税務システム改修経費については、平成25年度に交付金を交付した7市町以外が対象となります。 納税者に対する広報経費は、29市町で実施する ・個人住民税の普通徴収の納税通知書等へのチラシの封入（26年6月～） ・個人住民税の特別徴収の税額決定通知書（特別徴収義務者用）へのチラシと案内依頼チラシの封入（26年5月～） ・個人住民税の特別徴収の税額決定通知書（納税義務者用）等に説明を追記（26年5月～） の経費で、そのチラシについては、原則、平成26年3月に県が市町に提供したものを使用します。 また、5月初旬に送付される自動車税の納税通知に同チラシを同封します。				

【中間進捗】

中間進捗状況
「税務システム改修」、「納税者に対する広報」とも29市町にて対応いただきました。 ただし、交付金の申請と交付については、交付金対象（随時課税の通知）が未だ発生するため、年度末に完了する予定です。 また、自動車税の納税通知書564,248通に同チラシを同封しました。（1,301千円）

【実施結果】

区 分	実 績	備 考
事業費（千円）		
事業量	交付金交付市町数（市町）	
	自動車税通知同封数（数）	

【事業実施主体コメントと評価委員会の評価】

評価の視点	事業実施主体コメント	評価委員会の評価
有効性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
効率性	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。
公益性 （波及度）	※実績報告時に記入する。	※実績報告後に記入する。

【評価委員会による総合評価】

評価・提言	※実績報告後に記入する。